
山梨大学教育人間科学部附属教育実践総合センター

センターだより 第121号(通巻第188号)

2013年9月30日 発行
山梨大学教育人間科学部
附属教育実践総合センター
TEL 055-220-8325, FAX 055-220-8790
E-mail: jissen@ml.yamanashi.ac.jp
URL: <http://www.cer.yamanashi.ac.jp/>

■ 後期教育ボランティアガイダンスのご案内

本センターでは、事業支援プロジェクト—教員志望大学生による支援事業として、教育ボランティア活動を実施しています。この事業にかかわる学生を対象にした、平成25年度後期の教育ボランティアガイダンスを下記のとおり開催いたします。

受け入れ先の教育委員会、各学校・機関の担当者が活動内容等の説明を行います。今回のガイダンスも教育ボランティア学生運営委員会が運営を担当いたします。

多くの学生の皆さんの御参加をお待ちしています。

日時：10月2日(水) 14:55～16:20

場所：本学N号館 N-11・N-12教室(1階)

説明：受入先を小グループ編成し、学生が希望するグループの説明を聞きに行くブース形式

■ 第2回 eラーニング講習会のご案内 (テーマ：授業収録教材の簡単な作成方法と実習)

最近、大学の講義の無料配信が話題になっています。このような授業配信用のコンテンツ(教材)を作成する際、通常の動画やビデオファイルをそのまま使うことは、手間がかかる上に容量も多く、何かと不都合なことが多いので、コンテンツ作成用に特化した専用ソフトを用いるのが手軽で簡単かつ便利です。そこで、このような専用ソフトを使っておられる2名の先生に、事例をあげて、授業配信コンテンツの作成(収録)・配信方法を解説頂く予定です。また、このようなコンテンツ作成ソフトとして代表的なMCGについて、メーカーの方からソフトの機能と代表的な使い方を紹介して頂き、ビデオ配信に比べて容量が少なく済む授業収録の教材作成の実習も行います。

(<http://www.sgml-xml.jp/mcg/index.html>参照)

自宅で授業の分からない部分を学生が再度聞いて理解を深める使い方も重要ですが、反転授業(flipped learning)などを行うためのツールとしても、今後重要性が増していくと思われますので、教育方法の改善に関心ある方は、是非ご参加ください。

○ 日時：2013年10月18日(金) 16:30～18:00

○ 会場：第一実習室(情報メディア館 2階)

- 講師：佐藤眞久教授（Eラーニングプロジェクト委員，工学部基礎教育センター）
安藤英俊准教授（工学部コンピュータ理工学科）
宮原大樹助手（工学部基礎教育センター）
未定（株式会社デジタルコミュニケーションズ）

○この講習会は教員をはじめ職員や学生も受講できます。

※申し込みは，教育実践総合センター事務室 望月
(e-mail: jissen-ml@yamanashi.ac.jp) へお願いします。

●参加申し込み

講習会<10月18日（金）>に参加します。

- ・所属：
- ・氏名：

※事前申し込みがなくても受講できますが，会場やサーバー設定の準備等がありますので，できれば事前に申し込んでください。

■ 教育実践総合センター研究紀要「教育実践学研究」第19号原稿募集について

平成25年度教育実践総合センター研究紀要「教育実践学研究」第19号の原稿を，下記要領により募集いたします。多くの方々から，教育実践学研究の推進に資する論文の投稿をお待ちしております。

1. 投稿申込について

(1) 申込資格：

- (a) 本学教育学研究科教員・本学部教員（附属学校園教員・非常勤講師を含む）及び退職者（ただし，本学等に在職時の研究に関する発表のみ可）。
- (b) 本学教育学研究科・本センター客員教授・本センター研究員及び本センター研究協力者。
- (c) 本学教育学研究科所属の大学院生（大学院生は指導教員等の承認が必要です）。
- (d) その他，センター研究紀要編集委員会が認めた者。

(2) 申込締切：平成25年10月24日（木）

(3) 申込方法：以下の項目について記したメールを jissen@ml.yamanashi.ac.jp 宛てに送ってください。

- ☆ 申込者の氏名と所属
- ☆ 共著者全員の氏名と所属
- ☆ 指導教員名（筆頭著者が大学院生の場合）
- ☆ 論文題目

2. 原稿提出について

(1) 提出締切：平成25年11月7日（木）

(2) 提出方法：

☆ 図表・写真等を含む原稿のすべてをメールまたはCD、USBメモリー等により提出してください。

☆ 図表・写真は各々別ファイルにしてください。

☆ 論文全体のレイアウトのわかるプリントアウトを1部提出してください。

(3) 提出先：

☆ 提出メールアドレス：jissen@ml.yamanashi.ac.jp

☆ CD、USBメモリー、プリントアウトの提出：教育実践総合センター事務室（J424・内線8325）

3. その他

(1) 刊行規程や執筆要項、原稿作成要領については教育実践総合センターのWebページ

<http://www.cer.yamanashi.ac.jp/>

にある「センター研究紀要」－「投稿案内」を御覧ください。

(2) 締切を厳守してください。

(3) 原稿の体裁など、編集委員会より修正をお願いすることがあります。

(4) 不明な点に関しては jissen@ml.yamanashi.ac.jp に御相談ください。

(5) 研究紀要は、pdfファイルのWebによる公開と、掲載論文の概要等を印刷した研究紀要概要リーフレットの発行を行います。

(6) 抜刷印刷をご希望の方は、論文著者の経費で承ります。

■ 平成25年度第1回連携・教育研究会のご報告

平成25年9月11日(水)に、山梨県総合教育センターにおいて、第1回連携・教育研究会を開催しました。この会は、教員養成や教員研修に関わって、山梨大学と山梨県教育委員会（総合教育センター）がそれぞれの「強み」を生かして連携し、双方の成果を上げようという研究会です。

全体会では、昨年度の反省を踏まえた中で、今年度の研究の方向性等が確認されました。主事研究では、喫緊の教育課題をグループで組織的に研究する体制をとります。参加人数は19名でした。

分科会は、「教育課程研究（1. 防災教育，2. 理数教育，3. 言語活動）」、「相談支援研究（1. 教育相談，2. 特別支援教育）」、「情報教育研究（1. 情報教育，2. ICTの活用，3. 校務の情報化）」、「教育課程実施状況調査」のグループに分かれ、それぞれのグループ研究の内容の方向性等について、協議が行われました。参加人数は36名でした。

総合教育センターのセンター研究への支援ということで、大学側からは今年度は次の教員が参加します。教育実践総合センターでは、鳥海順子センター長、蘆原桂教授、成田雅博准教授、川村直廣客員教授、中澤勇三客員教授、早川健准教授、大学院教育学研究科からは、言語文化教育講座の岩永正史教授、社会文化教育講座の服部一秀教授、科学文化教育講座の松森靖夫教授、言語文化教育講座の田中武夫准教授、教育実践創成講座の東海林麗香准教授、教育支援科学講座の酒井厚准教授、大学院医学工学総合研究部からは、社会システム工学系の秦康範准教授が参加します。

■ 第 83 回国立大学教育実践研究関連センター協議会のご報告

センター協議会総会及び部門会議が、9月20日（金）に秋田大学において開催されました。加盟38センター、70名の出席があり、山梨大学からは、鳥海センター長、蘆原教授、成田准教授の3名が参加しました。

総会では、議事録の確認後、平成24年度会計収支報告、平成25年度事業計画について審議され、「教育臨床部門」「教育実践部門」「教育工学部門」の3部門で引き続き研究を進めていくことが確認されました。加えて研究紀要のスタイルを一部変更して研究の成果を紀要の前半に位置付けるなどの工夫をしていくことが確認されました。その後各大学からの報告と情報交換を行いました。

午後は、例年講演が中心でしたが、今回は秋田大学教育文化学部附属小学校教諭による公開授業が行われました。大学内に設置された模擬授業室で社会科の授業が行われ、隣の大講義室で4台のカメラで子どもの様子を観察し、授業者につけたワイヤレスマイクで教師の発問を聞き模擬授業室での様子を観察することができました。その後3部会に分かれて開催された部会協議の教育実践部門では、模擬授業室を活用した茨城大学の事例なども報告されました。

公開授業後は、3部門に分かれての協議が行われ、夕方5時からのワークショップでは本日の公開授業を中心とした、授業観察の視点について参加者で協議を行いました。詳しい資料は実践センターに保管してあります。

次回第84回総会は2014年2月18日（火）東京学芸大学において開催、第85回総会は2014年9月18日（木）岐阜大学において開催されます。

■ 山梨県教育委員会 10 年経験者研修山梨大学講座の開催

本センターが山梨県教育委員会 10 年経験者研修に協力して行っている山梨大学講座が、8月9日（金）に放送大学を会場に開催され、県内から138名の先生方が受講されました。今年度の講座は、「国際ワインと発酵食品（岸本宗和先生）」「山梨県の地震と活断層（福地龍郎先生）」「発達の遅れや偏りをどう支えるか？（渡邊雅俊先生）」「人と人とをつなぐ言語力—伝わることば・伝わらないことば（長谷川千秋先生）」の4つでした。山梨県教育委員会よりどの講座も受講生の方々が満足されていたとのご報告をいただきました。ご担当の先生方には心より感謝申し上げます。

■ 夏季休業中の教員研修等への協力についてご報告

教育実践総合センターは、センター主催の教員研修等を開催しており、教員免許状更新講習の講師も務めておりますが、学外の研修にも協力しました。教員研修等への協力状況は以下の通りです。

7月31日 中巨摩地区学校経営研究会において南アルプス市として取り組んでいる小笠原礼法の道徳教育としての活用について指導助言。参加者：中巨摩第4支会小学校校長9名（蘆原）。

8月5日 甲府市立城南中学校校内研修会。研修テーマ「情緒障害学級生徒および発達障害・学

- 習障害の生徒への対応について」、参加者：城南中学校教員、参加人数 35 名（鳥海）。
- 8 月 8 日 山梨県総合教育センター 新特別支援教育コーディネーター 研修会、研修テーマ「チーム援助の理論と実践」、参加者：小・中・高等学校の新特別支援教育コーディネーター、参加人数 83 名（鳥海）。
- 8 月 10 日 山梨県総合教育センター主催十年経験者研修講師。小学校理科の授業改善と日常に生かす諸方策について講義と演習を実施。参加者：十年経験者研修該当教員 4 名（蘆原）
- 8 月 20 日－21 日 平成 25 年度山梨県教育委員会教育職員免許法認定講習。特別支援学校教員講習特別支援教育に関する科目『発達障害者指導法』。参加者：小学校教諭・中学校教諭・特別支援学校教諭 109 名（鳥海）。

■「地域連携 子どもと親と教師のための教育相談」

〈相談スタッフを募集します。〉

新しく着任された先生やまだ登録をされていない先生方は是非、ご協力をお願いします。新規登録や相談日時の変更等は教育実践総合センター事務室まで電話、メールなどでお申し出ください。

■教育相談室に関するお知らせ

「教育相談室（L-428）」及び相談室の備品をどうぞご利用ください

「教育相談室」のご利用に際しましては、事前に附属教育実践総合センター事務室（J号館4F）にて空き状況を確認の上、ご予約ください。火曜日は附属教育実践総合センターが優先的に使用させていただきます。鍵はJ号館1階支援課にあります。利用された場合には、相談室内に置かれた使用簿及び報告書の記載をお願いします。

教育相談室の心理検査やソーシャルスキルを高める児童・生徒用のゲームなど備品も貸し出してあります。借りる際には必ず使用ノートにご記入をお願いします。

これまでのセンターだよりの一部は、 <http://www.cer.yamanashi.ac.jp/centerdayori.html> で見ることができます。